【様式3】

情報公開用文書(藤沢市民病院で実施する医学系研究)

2026年9月16日作成

■研究課題名	当院の前置胎盤症例の分娩管理についての後方視的検討
■研究の対象	2020年1月1日から2026年8月31日に前置胎盤と診断され、当院で分娩となった症例
■研究目的・方法	【目的】前置胎盤は分娩後異常出血のリスク因子であるため、輸血やIVR、子宮摘出の対応が可能な高次医療機関での分娩が望ましい。当院はIVRが可能であるが、ハイブリット手術室がないため、手術室でのIVRが困難である。 そのため、癒着胎盤の症例などは、麻酔科、放射線科とIVRの必要性などを事前に協議することにより安全に管理が出来ている。当院での前置胎盤の管理を文献考察を加えて検討する。 【方法】過去の診療録を参考に、2020年1月1日から2026年8月31日に当院でに前置胎盤と診断され、当院で分娩となった症例を検討。 評価項目;母体背景、母児の転帰、分娩時出血量、輸血や子宮摘出、IVRなどの侵襲的処置の有無について。
■研究期間	倫理委員会承認日から2029年12月31日
■研究に用いる 試料・情報の種類	母体背景:紹介方法、妊娠方法、分娩時年齢、身長、体重、BMI、経妊経産回数、生存退院 児転帰:生死、出生週数、出生時体重・身長、Apgar score、UApH、NICU入院 分娩転帰:分娩方法、出血量、手術時間、輸血の有無、子宮内バルーンタンポナーデの有無、子宮摘出、IVRの実施
■試料・情報の 取得と保管方法	データファイルについては、ネットワークから独立した院内のPCを使用し、共有サーバ内に保管する。
■外部への 試料・情報の提供	なし

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので、下記連絡先まで電話またはFAXにてお申し出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。

お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒251－8550 藤沢市藤沢2丁目6番1号
藤沢市民病院 産婦人科 (研究責任者) 持丸 綾
電話番号:0466－25－3111(代表) FAX:0466－25－3545